

テーマ「知多広域圏活性化にむけた学生の地域参加

—学部の実践型教育の強化を通じて—

11月12日、現代GP中間報告会を開催し、9プロジェクトが取組みを報告

2004年後半からスタートした知多地域全体の活性化をめざす本学現代GPの取り組み。その中間報告会が、大学祭期間中の11月12日、美浜キャンパス文化ホールで開かれました。

報告会では丸山経済学部長による開会の挨拶に続き、斉藤友之現代GP推進室長の司会で、プロジェクトの学生が報告に立ちました。各プロジェクトはそれぞれ報告資料と壇上のスライドを準備。8分の報告に対してはコメンテーターの谷本瓦氏（地域振興研究所）、伊藤悦子（常滑屋代表）から報告ごとに成果の確認、課題提示がありました。またロビー



では9本の報告に加え、2プロジェクトのポスターセッションが行われました。会場にはプロジェクト担当以外の教職員や学生が120名参加しました。

各プロジェクトの活動概要は次ページに紹介しています。



空港調査について報告する経済学部の竹内君



中間報告会助言者
谷本氏・伊藤氏

国際化プロジェクト、南京で「えびせんべい」嗜好調査を実施

中部国際空港の国際化を研究するプロジェクトでは、3月6日、中国で東南大学の学生を対象に、土産物嗜好調査を行いました。

私たち国際班は東南大学において、知多半島の名物“えびせんべい”の試食会を実施しました。試食会に協力してくれた学生は、日本語学科の3年生25名。全員日本にきたことがなく、日本食もほとんど食べないという学生です。

南京の学生には“わさび”、“イカスミ”、“ウメ”など全8種類の味を食べ比べての評価をしてもらいました。

全体として味が薄いものはいい評価を得られず、味のはっきりしたものに人気が集まりました。

詳細については、今年発行予定の「知多半島観光パンフレット」に詳しく載せるので、期待してください。

福祉経営学部3年 米山 将太



東南大学の学生による試食会風景

報告者一覧

Project/テーマ/報告者

海と文化とものづくり

「内海と伊勢・志摩を歩いて」
経済学部3年・米倉・森

産業観光

「知多半島における産業観光
—見学・体験を中心として—」
社会福祉学部4年・大塚

観光の伝統と革新

「国際空港が地域（まち）にやって来た」
経済学部2年・竹内・原

地域づくり

「持続可能な知多半島づくり」
情報社会学部3年・青島・他3名

蔵の街

「学生による良い街の一提案」
経済学部3年・西出・伊藤
経済学部2年・丸太

地域生涯学習

「学生参加による地域生涯学習の活性化の可能性」
大学院1年・中根・棚田

国際化

「中国人向け知多半島観光パンフレット
製作」
経済学部2年・甘偉・福祉経営学部
3年・米山・百瀬

美浜町：福祉のまちづくりとネットワーク

「美浜町：福祉のまちづくりとネットワーク、
東海・東南海地震を考える」
福祉経営学部3年・渡邊

ポスターセッション

テーマ/報告ゼミ

地域通貨

「商店街や地域の活性化に役立つ地域
通貨デザイン」
経済学部・谷地ゼミ

地域商工業振興

「知多の魅力発見の地図作成（師崎地区）」
経済学部・中村ゼミ